

夏スペシャル

怪獣 母ちゃん 奮闘日記

4人の子どもを育てる母
ちゃんが、家族、子育て、
自分のことなど日常のあ
りのままをつづります。

書く人／辻登志江さん

夫、三男一女(1号ゆいた7歳、2号じんと5歳、3号みつる3歳、4号しほ1歳)の怪獣たちと暮らす。岡山県出身。元作業療法士。桃の農家をしていた祖父母に憧れ、いつかはやってみたいと思っていた農業を徳島に来て始める。「つながり農園」主宰。43歳。

怪獣一家お出かけ事情

ある時、母ちゃん、小児救急の講座と防災の講座を受けに行った。いざという時のために知っておきたいと思っただけです。救急講座では普段から子どものことをよく観察して触れておき変化に気づけるようになることが大事、防災講座では同時多発に突然起こる子どもたちとのハプニングは災害時と一緒に、命に関わることから順番に判断して対処していくことが大事、という部分が特に頭に残った。なるほど、常日頃から怪獣にまみれつつ母ちゃんレベルをアップしなければなあと、痛感。レベルアップ、さて、どうしよう。

そこで、昨年の夏、母ちゃん思いついた！
「怪獣母ちゃんのお出かけレベルアップ！4人連れてやってみよう企画in夏休み」。

どんなときにどんなことが起こっても対処できるように日頃から訓練しておこう、というわけです。父ちゃんには「普段から怪獣達と過ごすだけでも

う十分訓練やん。しかも、順番に1人ずつ産まれてきてるんやし、その都度できていってるやん。ばあちゃん達も力貸してくれるし」と言われつつ、いやいやそれはそうだけれども、いざという時に誰がどういう形でいるかわからない。母ちゃん1人で4人連れて過ごすことが可能性としては高い。しかも、夏休み長すぎるし、いろいろ想定して課題クリア！って楽しもうくらい考えんとやつとれん…と、思い立ったら止まらない母ちゃん。

買い物に行く、畑作業をする、銭湯に行く、プールに行く、車で遠出する、里山ようちえん(自然の中で過ごす認可外保育園)の夏休みオープンスクールに参加する、キャンプ(お泊りと野外で料理する…やってみたいこと全部書き出してみた)。

まず、第1段階。買い物に行く、というの簡単かと思いきや、一番手こずった。「みんな無事で楽しくいこう

ね」「うん、しゅっぱーつしんこーう！」で、次の瞬間からハイ喧嘩。ハイコケる怪獣する。ハイよそ見で迷子、ハイトイレ、あつちに行きたいこつちに行きたい逆方向、壊しちゃった、お腹すいた、こぼした…動けば動くだけハプニングは起こるし、大騒ぎ。準備から帰宅まで、たった1時間のお出かけでも、その日の残りの時間はずっとぐったりしているほど。先が長いわー。

怪獣と出かけるのに何が困るって、ベクトルが違う方向にビヤーツと動き出すこと、全員が同時に違うことを訴えてくること、ハプニングが同時多発なこと。怪獣達の心身の成長っぷりは母ちゃんの想像以上。課題が変わっても、基本的にハプニングは一緒なわけですよー。

そこで母ちゃんが磨いた技！(と、自分では思ってる)7つ。

- ① 同じ服を着せる
 - ② 一瞬で4人を数えられるようになる
 - ③ 今日のお仕事と役割を怪獣達に伝える
 - ④ 迷子と破損の可能性のあるところは通らないよう、ルートを工夫
 - ⑤ 上3人の迷子になり方を把握
 - ⑥ ハプニング時は迷わずに周りに声をかけて助けてもらう
 - ⑦ 助けてもらってもそうじゃなくても、すぐに「すみません。ありがとございませう」と言う
- 母ちゃんとしては、今日1日が楽しかったか、成果がどうかでことより
- も、とにかく命を落とすことなく皆が家に帰り着いて揃った、ただそれだけで「はあ、良かったー」って思っただけ、自分を褒めちゃう。そしてその後はぐったりしちゃって、お出かけ日数分時間分、ほぼ動けない。気力体力の消耗たるや…(笑)。何度も後悔したし、何度も白目をむきそうな場面があったけど、母ちゃん業は引退宣言するわけにもいかない。一方で、怪獣たちは常に全力いっばいで今を生きている生き物なわけで、いつも幸せそうで、母ちゃんとは大違い。怪獣パワーおそるべし。
- 「今日も元気でありがとう。明日もよろしくね。おやすみなさい」という怪獣のおやすみの挨拶にほっこりしたら、後悔したこともつい忘れて、「よくやったわ、私」って思っちゃう単純母ちゃん。
- それにしても、どの課題でも思ったのが、人の目と手と声かけのありがたさ。半べそ母ちゃんも立ち直れるほどの関わりには泣けるわけです。ああ、私もいつかこんなファイナルレオお助けマンになりたいなあ。
- いざという時には、こう思っただけ、切ろうかな。
- 動くたび いつももあるある
- ハプニング よっしゃきたきた
- どうするで
- 怪獣達は未知で果てしない。

怪獣母ちゃんの子どもたち夏アルバム



プールサイドには、お出かけの全体が見渡せる場所を選ぶのがポイント(母ちゃんの世界)。



お揃いの服を着せているのは、見つけやすいことと、迷子になった時に「この服着ている子ども、見ませんでしたか」と聞いて探せるから。



1～3号の迷子のなり方はそれぞれ。3号みつる(写真)は道順を覚えていて、母ちゃんがいるところがある。しかし、この日は母ちゃんがウロウロと動いてしまったので、パニックに。結果的にショッピングセンターのインフォメーションに父ちゃんが迎えに行き、初迷子。



ドラム缶風呂に入る。

川遊びをする2号じんと。

2018年オープンの自然の中にある無認可保育園兼フリースクール「里山のようちえん ハナエミ」(三好市池田町)。夏休みオープンスクールに参加。